

科目名	インターンシップⅠ	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）
			経済学科 □必修 ■選択
			法律学科 □必修 ■選択
英文表記	InternshipⅠ	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年
ふりがな	むらなかたかし・わたなべたけし	開講期間	□前期 □後期 ■通年 ■集中
担当者名	村中孝司(経済)・渡部毅(法律)	修得単位	2単位
授業のテーマ	就業体験を通じて、職業の実際を学ぶ。		
到達目標	就業体験を通じて、働く意義、および自分の職業適性に関する理解を深める。		
授業概要	本講義は、講義（事前・事後指導）と、就業体験によって構成されている。このうち、就業体験では、実際の現場に出ることになるので、働くということ、および自分の職業適性について直に学び、その理解を深める。また、講義においては、働くにあたって必要なビジネス・マナーなどを学習して、就業体験への心構えをもつとともに、卒業後の将来設計について改めて見つめなおす。		
授業計画			
第1回	事前指導① ガイダンス（インターンシップとは）	第5回	事後指導① 就業体験の振り返り①
第2回	事前指導② インターンシップの心構え	第6回	事後指導② 就業体験の振り返り②
第3回	事前指導③ ビジネス・マナー①	第7回	インターンシップ報告会①
第4回	事前指導④ ビジネス・マナー②	第8回	インターンシップ報告会②
	インターンシップ（40時間）	第9回	定期試験
授業時間外の学習	常に社会人としてのマナーを意識して、大学生活を過ごすこと。新聞やニュースを毎日確認し、社会の動きを把握しておくこと（3時間程度必要）。		
履修条件 受講のルール	この授業では、企業等に少なくとも5日間、インターンシップ実習を行います。実習中はどのような理由があっても欠席することはできません。事前指導、事後指導などの講義を含め、原則としてすべてスーツ着用です。遅刻、無断欠席は、履修登録を取り消したものとみなします。適宜資料を配布しますが、欠席した学生には配布しません。 また、この科目は2年次対象です。インターンシップⅡを同一年度内に履修することはできません。		
テキスト	講義中に紹介する。		
参考文献・資料	古閑博美編著『インターンシップ—職業教育の理論と実践』学文社(2001年)		
成績評価の方法	試験（30%）、実習での成果（40%）、授業中の課題作成・報告会での発表（30%） 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は、欠席扱いとします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解、および予習復習が充分であることを確認するため、授業中に小テストを行います。 ・レポート課題は授業内又は掲示板で指示します。		
オフィスアワー	各学科の担当教員に直接尋ねること。		
成績評価の基準	・平成28年度以降入学者 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) ・平成27年度以前入学者 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)		
学生へのメッセージ	就職希望先で就業体験をしましょう！		